

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2012年9月28日設定)
運用方針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年3月7日および9月7日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

運用報告書(全体版)

イーストスプリング・ フィリピン株式オープン

第20期(決算日 2022年9月7日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス:<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
16期 (2020年9月7日)	円 6,842	円 0	% △ 6.7	% 97.5	百万円 1,437
17期 (2021年3月8日)	8,359	0	22.2	96.2	1,556
18期 (2021年9月7日)	8,177	0	△ 2.2	92.9	1,339
19期 (2022年3月7日)	8,840	0	8.1	93.0	1,178
20期 (2022年9月7日)	9,089	0	2.8	93.5	1,214

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

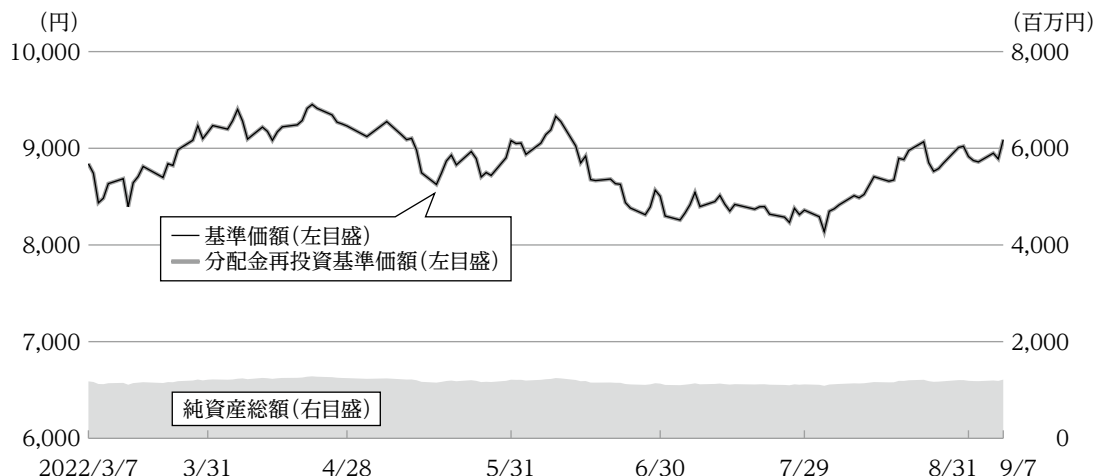
年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2022年3月7日	円 8,840	% -	% 93.0
3月末	9,166	3.7	94.0
4月末	9,231	4.4	92.2
5月末	9,079	2.7	93.1
6月末	8,504	△3.8	93.2
7月末	8,360	△5.4	92.9
8月末	8,915	0.8	93.5
(期末) 2022年9月7日	9,089	2.8	93.5

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2022年3月8日～2022年9月7日)



第20期首	8,840円
第20期末	9,089円 (既払分配金0円)
騰落率	2.8% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・通貨ペソが対円で上昇したこと。

フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は下落しました。期初から2022年4月中旬にかけては、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、経済再開への期待が高まったものの、5月に行われる大統領選挙への不透明感から方向感の乏しい相場展開が続きました。大統領選挙終了後はエネルギー価格の高騰によるインフレ高進を受けて、フィリピン中央銀行が利上げを継続して行ったことから株式市場は6月末にかけて下落基調をたどりました。その後は原油価格が下落し、インフレ懸念が和らぐ中、コロナ禍からの経済再開により個人消費の増加への期待が高まり、期末にかけて株式市場は上昇しました。

為替市場

期初から2022年5月末にかけては、米国で利上げが実施され、フィリピン中央銀行も利上げを行ったことなどをを受けて、フィリピンペソは米ドルに対して概ね小幅なレンジ内で推移しました。しかし、その後はインフレの高進に対応するべく、米国で利上げが継続して実施され、米国とフィリピンの金利差が縮小するとの見方が広がり、フィリピンペソは期末にかけて対米ドルで下落しました。

また、米国がインフレ抑制のために金融引き締め政策を継続する一方、日銀が金融緩和政策を維持していることから、期を通じて円は対米ドルで大幅に下落しました。その結果、通期ではフィリピンペソ高円安となりました。

国内債券市場

期初から2022年3月下旬にかけては、米国の金融引き締め加速への懸念を背景に日本国債利回りは上昇（価格は下落）しました。しかし、7月半ばにかけては日銀の連続指値オペの実施などをを受けて狭いレンジでの推移となりました。その後8月末にかけて、米国では景気減速懸念から長期金利が低下する中、日本国債利回りも低下しましたが、期末にかけては再び米国でインフレ抑制のため積極的な金融引き締め政策が実施されるとの見方が強まり、日本国債利回りは上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス] (以下「フィリピン・エクイティ」といいます。) の組入比率を高位に保つよう運用しました。

フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期は2022年上半期の決算で過去最高の売上高を記録した食料品メーカーUniversal Robinaなどの株式保有がプラス要因となりました。一方、米ドルに対するフィリピンペソ安やエネルギー価格の高騰などを背景にインフレが高進する中、景気減速や個人消費の低迷への懸念が台頭したことから不動産会社Ayala Landなどの株式保有はマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第20期	
	2022年3月8日 ~2022年9月7日	
当期分配金 (円)	(円)	—
(対基準価額比率) (%)	(%)	—
当期の収益 (円)	(円)	—
当期の収益以外 (円)	(円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	(円)	1,420

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) -印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

フィリピン・エクイティ

フィリピンは国内経済の規模が大きく、タイやシンガポールなど他のASEAN諸国と比べて世界経済減速の影響を受けにくいと考えられます。また、世界的な経済成長の鈍化が主要商品価格の低下につながり、今後インフレの緩和をもたらす可能性があります。一方で、地政学的リスクの高まりにより短期的にはインフレ高進および通貨ペソの変動性が高まる局面が予想されますが、フィリピンは長期的には良好な人口動態と健全なマクロファンダメンタルズを背景に、他のASEAN諸国と比較して高い経済成長が見込まれます。

セクター別では、貸出債権の改善や金利上昇による利ざやの拡大が期待される銀行株を選好する一方、不動産株については引き続き低めに維持するものの、住宅やオフィス市況への懸念から売られ過ぎた優良銘柄の組入れを増やす方針です。また、原材料費の上昇が和らぐ中、需要が堅調なことから、消費関連銘柄も徐々に組入れを増やす方針です。引き続き、投資環境の変化に対する市場の反応などに留意しつつ、下落局面では割安となったファンダメンタルズの強固な優良銘柄に選別投資を行います。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1万口当たりの費用明細

(2022年3月8日～2022年9月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	62円	0.693%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,875円です。
(投信会社)	(24)	(0.266)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(37)	(0.416)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.040	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(4)	(0.040)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	66	0.733	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

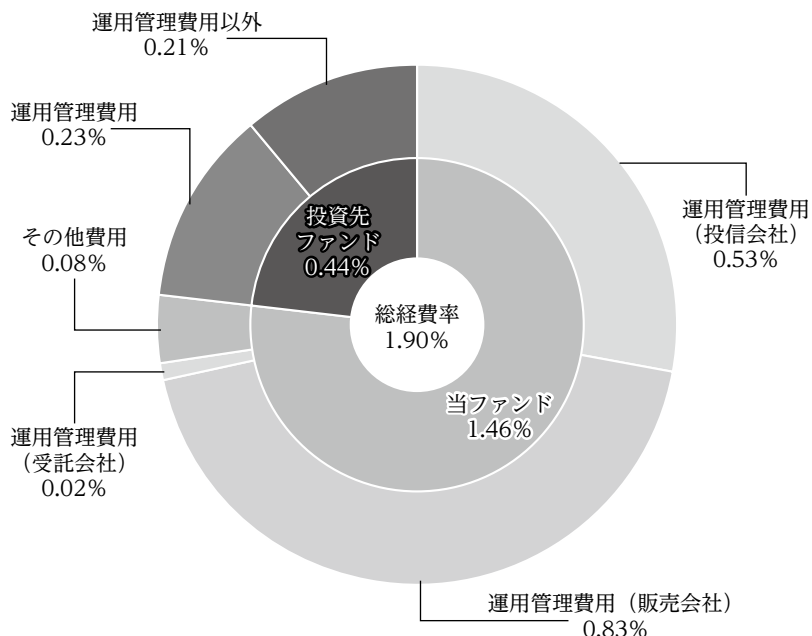
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



総経費率 (①+②+③)	1.90%
①当ファンドの費用の比率	1.46%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2022年3月8日から2022年9月7日まで)

該当事項はありません。

利害関係人との取引状況等

(2022年3月8日から2022年9月7日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2022年9月7日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 4,636	千口 4,636	千円 4,956	% 0.4
合 計	4,636	4,636	4,956	0.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	千口 453	千口 453	千米ドル 7,901	千円 1,130,900	% 93.1
合 計	453	453	7,901	1,130,900	93.1

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2022年9月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	4,956	0.4
投 資 証 券	1,130,900	92.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	89,715	7.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,225,571	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(1,130,900千円)の投資信託財産総額(1,225,571千円)に対する比率は92.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年9月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=143.12円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年9月7日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,225,571,773円
コール・ローン等	89,715,074
投資信託受益証券(評価額)	4,956,266
投資証券(評価額)	1,130,900,433
(B) 負 債	10,954,896
未 払 解 約 金	2,332,401
未 払 信 託 報 酬	8,151,010
未 払 利 息	263
そ の 他 未 払 費 用	471,222
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,214,616,877
元 本	1,336,380,953
次 期 繰 越 損 益 金	△ 121,764,076
(D) 受 益 権 総 口 数	1,336,380,953口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,089円

(注1) 元本の状況

期首元本額 1,332,656,078円

期中追加設定元本額 126,304,195円

期中一部解約元本額 122,579,320円

(注2) 1口当たり純資産額は0.9089円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2022年3月8日 至2022年9月7日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 45,851円
支 払 利 息	△ 45,851
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	39,630,292
売 買 損 益	265,813,165
売 買 損 益	△226,182,873
(C) 信 託 報 酬 等	△ 8,628,172
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	30,956,269
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 59,161,021
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 93,559,324
(配当等相当額)	(160,751,481)
(売買損益相当額)	(△254,310,805)
(G) 計 (D+E+F)	△121,764,076
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△121,764,076
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 93,559,324
(配当等相当額)	(160,751,481)
(売買損益相当額)	(△254,310,805)
分 配 準 備 積 立 金	29,040,178
繰 越 損 益 金	△ 57,244,930

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(160,751,481円)および分配準備積立金(29,040,178円)より、分配対象収益は189,791,659円(10,000口当たり1,420円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

当ファンドの投資対象である外国投資信託証券「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」における管理費用等が、2022年7月1日付で引き下げられました。これにより、実質的にご負担いただく運用管理費用（信託報酬等）は年率1.875%程度（税込）から年率1.775%程度（税込）に変更されております。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、フィリピンの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	フィリピンで設立または上場している企業ならびにフィリピンにおいて主に事業展開を行っている企業の株式および株式関連証券	
ベンチマーク	PSEi Index (フィリピン総合指数) *1	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S.A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.25%	
管理費用等	年率0.15%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) *2	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

*1 PSEi Index (フィリピン総合指数) は、フィリピン証券取引所が公表している指数です。

*2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2021年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

2021年12月31日に終了した事業年度	米ドル
期初純資産	43,034,803
収益	
配当金	560,806
預金利息	211
収益合計	561,017
費用	
運用報酬	212,298
管理費用	14,919
保管銀行費用	32,410
取引手数料	31,980
管理・名義書換代行事務費用	20,561
監査費用、公告・印刷費用	445
税金	4,857
借越利息	157
役員報酬	184
その他費用	(4,725)
費用合計	313,086
純投資収益（損）	247,931
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）	(755,156)
外国為替先渡取引に係る実現純利益（損）	1,293
外国為替に係る実現純利益（損）	(11,190)
実現純利益（損）	(765,053)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額	(1,386,824)
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額	(6,130)
未実現評価益（損）の純変動額	(1,392,954)
運用による純資産の純増加額（減少額）	(1,910,076)
資本金の変動	
投資証券の発行	9,415,759
投資証券の解約	(16,890,219)
当期の純資産の変動額	(9,384,536)
期末純資産	33,650,267

投資有価証券明細表（2021年12月31日現在）
（米ドル表示）

銘柄	数量	通貨	取得金額	評価金額	対純資産比率 (%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場 で取引されている譲渡可能な有価証券					
株式					
Philippines					
Aboitiz Equity Ventures Inc	1,089,250	PHP	1,241,489	1,164,895	3.46
Aboitiz Power Corp	658,300	PHP	499,035	384,405	1.14
AC Energy Corp	1,334,600	PHP	251,807	288,049	0.86
Alliance Global Group Inc	2,468,900	PHP	766,718	571,768	1.70
Ayala Corp	129,569	PHP	1,959,321	2,111,570	6.27
Ayala Land Inc	3,561,550	PHP	2,723,331	2,565,314	7.62
Bank of the Philippine Islands	908,077	PHP	1,593,415	1,640,562	4.87
BDO Unibank Inc	914,230	PHP	2,075,193	2,164,210	6.43
Bloomerry Resorts Corp	1,740,100	PHP	366,523	215,242	0.64
Converge Information and Communications Technology Solutions Inc	713,000	PHP	385,189	446,258	1.33
Cosco Capital Inc	3,082,811	PHP	375,420	315,076	0.94
East West Banking Corp	1,900,447	PHP	577,739	358,152	1.06
Filinvest Land Inc	15,819,126	PHP	445,684	341,189	1.01
First Philippine Holdings Corp	345,960	PHP	557,008	476,036	1.41
Globe Telecom Inc	13,715	PHP	544,325	893,994	2.66
GT Capital Holdings Inc	62,855	PHP	1,008,043	666,689	1.98
International Container Terminal Services Inc	432,885	PHP	1,012,716	1,698,618	5.05
JG Summit Holdings Inc	1,289,348	PHP	1,564,412	1,341,218	3.98
Jollibee Foods Corp	158,260	PHP	650,569	672,253	2.00
LT Group Inc	1,305,770	PHP	363,564	254,353	0.76
Manila Electric Co	108,480	PHP	638,511	628,541	1.87
Megaworld Corp	5,038,100	PHP	432,292	311,587	0.93
Metro Pacific Investments Corp	8,520,300	PHP	856,447	652,778	1.94
Metropolitan Bank & Trust Co	1,536,671	PHP	1,860,535	1,680,022	4.99
Monde Nissin Corp '144A'	970,400	PHP	276,489	308,897	0.92
PLDT Inc	39,240	PHP	1,393,920	1,395,684	4.15
Puregold Price Club Inc	765,910	PHP	650,228	591,003	1.76
RL Commercial REIT Inc (REIT)	2,069,300	PHP	269,987	308,818	0.92
Robinsons Land Corp	978,513	PHP	449,874	369,252	1.10
Robinsons Retail Holdings Inc	158,020	PHP	231,450	203,226	0.60
San Miguel Corp	83,720	PHP	197,473	188,818	0.56
Security Bank Corp	287,520	PHP	941,929	671,931	2.00
SM Investments Corp	174,928	PHP	2,967,448	3,234,974	9.61
SM Prime Holdings Inc	4,604,375	PHP	2,907,334	3,058,953	9.09
Universal Robina Corp	371,470	PHP	1,103,714	934,097	2.78
Vista Land & Lifescapes Inc	1,688,383	PHP	191,898	117,113	0.35
Wilcon Depot Inc	184,900	PHP	118,579	110,586	0.33
			<u>34,449,609</u>	<u>33,336,131</u>	<u>99.07</u>
株式合計			34,449,609	33,336,131	99.07
投資総額			34,449,609	33,336,131	99.07
その他資産				<u>314,136</u>	<u>0.93</u>
純資産				<u>33,650,267</u>	<u>100.00</u>

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2021/2/26 ～2022/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,763円です。
（投信会社）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.234	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2022年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	649,500	680,138	99.1	—	33.6	46.3	19.2
合 計	649,500	680,138	99.1	—	33.6	46.3	19.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第321回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第351回 利付国債（10年）	1.0	50,000	50,029	2022/03/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	50,141	2028/06/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	59,000	59,123	2029/03/20
	第60回 利付国債（20年）	0.1	90,000	89,814	2030/06/20
	第60回 利付国債（20年）	1.4	30,000	30,357	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	51,212	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	46,780	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	21,283	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	40,625	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	59,869	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	135,000	149,018	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	27,500	31,881	2030/03/20	
合 計			649,500	680,138	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。